

## 第4回 甲賀市小中学校教育のあり方審議会 議事概要

1. 日 時：令和4年 1月18日（火） 14時30分～15時45分

2. 場 所：甲賀市役所3階 会議室301

3. 出席者：〔委員8名〕（敬称略）

狩野秀樹、伊藤孝子、中西三夫、山田昭、前川志津子、青木秀樹、  
八木正隆、中野和彦

※欠席：池田静香

〔事務局（市）〕

学校教育課 乾次長 松村参事

教育総務課 谷課長 田中室長補佐

〔傍聴者〕

1名

4. 内容

開会

市民憲章唱和

1. あいさつ（会長）

会長

皆さん、こんにちは。

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

さて第4回あり方審議会にご出席賜りまして、ありがとうございます。

日本の言葉というのは、微妙なニュアンスを持っておりまして、よく私たちが使う時、お菓子などを頂いた時に「これちょっと美味しくない？」という言い方と、「美味しくない」という言い方があり、両方を取れる訳です。外国の方が日本語を勉強する時に、どちらの意味なのか分からないということがあります。普段話している中ですと、雰囲気ですと、「美味しい」のか「美味しくない」のか分かりますが、これを字体にすると全く分からないということもあります。本日は審議会の中で、提言を皆さんにご検討いただきますが、是非とも皆さんのお知恵をお借りいたしまして、読まれる方が素直に内容をご理解いただける文章になりますことを願ひまして、挨拶に代えさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

2. 会議の概要報告について【資料1】

会長

事務局から説明をお願いします。

## 事務局

会議の概要報告について説明いたします。

資料1をご覧ください。

1. 会議名称 : 第3回甲賀市小中学校教育のあり方審議会
2. 開催日時 : 令和3年12月20日(月) 14時30分～15時55分
3. 開催場所 : 本館301会議室
4. 議 題 : 会議の概要報告について 令和3年度の提言書(案)について 意見交換
5. 公開または非公開の別 : 公開
6. 出席者 : 委員8名 欠席1名 事務局職員
7. 傍聴者数 : 2名
8. 会議資料 : 会議概要報告 令和3年度提言書(案)
9. 議事結果概要 : 会議の概要報告 令和3年度提言書(案)を事務局より説明させていただき意見交換を行いました。
10. その他 : ございません。

以上、説明とさせていただきます。

## 会長

ありがとうございました。

このことについて、皆さんからご意見ご質問はございますか。

ないようでしたら、甲賀市附属機関の会議の公開等に関する指針第8条に基づき、市のホームページに掲載させていただきます。

次に次第3 令和3年の提言書(案)について事務局より説明願います。

## 事務局

それでは資料2をご覧ください。

資料2は前回会議で皆様からいただきました意見を加味し、最終調整をさせていただきました。提言書(案)3ページ提言の部分をこれから音読させていただきます。

まず、前半部分から中段まで音読いたします。

提言 小規模校では、教員による個々の子どもの特性や能力に応じた指導、丁寧かつきめ細やかな関わりが可能であり、子ども一人ひとりが活躍できる場面を多く設定することができます。きわめて小規模の学校では、個別指導も充実します。

一方で限られた人数の中では人間関係が固定化され、集団活動が十分できず、時には成立せず、大人の力をも必要とする活動となることが懸念されます。

きわめて小規模の学校においてはこの状況を改善するために、ICT活用や学年の枠を超えた集団学習をされています。さらに近隣の学校の子どもたちが一堂に会して教科学習や行事を合同で行うなど、多人数の生活や学習の場面を行う工夫をされています。

以上です。

会長

前半部分を読んでいただきました。ご意見等ございましたら、よろしくお願いします。

委員

失礼いたします。

「集団学習をされていて～工夫をされています。」と状況を説明されていますが、状況としては、「集団学習がされています」という自主的な表現が良いと思います。受け取り方では丁寧・謙譲語と取れてしまう印象がありました。

そしてそれに伴って、「教科学習や行事を合同で行うなど、多人数の生活や学習の場面を行う工夫をされています。」と「行う」「行う」が重なっておりますので、後半は「多人数の生活や学習の場面を設定するなどの工夫をされています。」とされてはどうかという感想でございます。

会長

「集団学習をされています」の部分は「しています」ですか。

委員

「集団学習がされています」です。

「集団学習をされています」はその学校では「されているんですよ」という尊敬・謙譲語の意味合いに取れてしまうので「集団学習がされています」とするのはいかがでしょうか。

会長

なるほど。

次の「行う」「行う」が2回繰り返されるという部分ですね。

委員

はい、「その場面が設定されています」です。

会長

なるほど。

委員

よろしいでしょうか。

同じようなことを感じました。

最後の「多人数の生活や学習の場面を行う工夫をされています。」の部分について、学習の場面を行うというのは違和感がありました。〇〇委員が仰っていただいたように「場面が設定～」とする方がよく分かったと感じました。

会長

そうすると「設定」という言葉を使うと「行う」「行う」が消えますので、採用したらどうかと思います。

「設定されています」と「工夫」という言葉を入れるのは、先生方のこの子たちのためにという思いがあると思うので、「工夫」を残しておくのはいいと思うのですが、〇〇委員、いかがでしょうか。

委員

「工夫」がなされるという意味だと思います。

5行目の「懸念されます」のされますの意味と、丁寧・謙譲語のされますの意味との違いがありますので、「場面を設定する工夫がなされています」はいかがでしょうか。「されています」が多いように思います。

会長

「されています」が3つ続きますので、この辺は考えたいと思います。

「懸念されます」、「集団学習をすすめています」、「場面を設定する工夫がなされています」

「されます」の使い方が同一的にならないように、なるべく「されます」は1回だけにして、「設定する」を使いながら直したいと思います。

〇〇委員どうぞ。

委員

5行目の「大人の力をも必要とする活動」は、意味は分かります。子どもが少ないので教員も一緒に活動をするので分かりますが、読んだ時に具体的ではないので目に浮かばないです。私たちは見学させていただいたりして色々なことが分かりますが、見学していない方には分からないと思います。実際「大人の力をも必要とする活動」という言葉もないよ

うに思います。

会長

何かありますか、〇〇委員。

委員

考えたんですが、分かりませんでした。

この言葉で多くの方が理解できたらいいと思うのですが。

会長

別にこれは大人でなくてもいいのですよね。結局、猫の手でもいいですよね。要は数が多ければいいのですよね、本当は。子どもがいないから、大人が代わりをしてあげているということだと思ってしまうのですが。

委員

逆に言うと、子どもだけでは解決できないとかのほうがいいのではないかと思います。

会長

なるほど。

委員

目を子どもたちに合わせているから、焦点がそちらのほうがぶれないと思います。

会長

今仰っていただいた中で、「解決」がいいですか、「達成」がいいですか、〇〇委員。「子どもたちだけで達成できない活動になることが懸念される」。

副会長

すみません。今の部分ですが、「解決できない」と否定するよりも、「解決が難しい」と否定は使わないほうが良いように思います。「子どもたちだけでは解決することが難しい活動」など、少し長くなりますがそのような形でより良いものが出来たらいいなと思います。

会長

「子どもたちだけで解決が難しい活動となることが懸念されます」

〇〇委員どうですか。

〇〇委員が仰っていただいたように子ども目線で書くのは大賛成です。あまり否定的にならず、うまく行かないということさえ伝わればよいと思いますので、直したいと思います。他はございますか。

委員

この段階で解決とありますが、子どもたちの活動は解決しなくてはいけないのかと思います。解決しない問題も沢山ありますので、子どもたちだけでは取り組めない活動とか、もう少しふわっとしている方がいいかと思います。

会長

「達成」とか「取り組み」でしょうか。

委員

はい。全て解決しているわけではありませんから。

会長

了解です。

やり遂げるといって少しオーバーですね。全て何でもやり遂げているのかというと、楽しんでいるだけの活動もありますからね。

委員

「取り組めない」ではいかがですか。

会長

大人という言葉を使っているのは、子どもたちだけでは出来ないんだと、つまり、子どもの人数だけではできないと言っている訳で、「子どもたちだけでは」と言うと、貴生川小学校の子どもたちだけでは出来ないということにもなりますから、「人数」を多用するのは止めた方がいいでしょう。

〇〇委員が仰っていただいたように、「子どもたちだけでは取り組めない活動となるこ

とが懸念されます」。  
他に前半部分でありますか。

委員

「一方で限られた人数の中では人間関係が固定化され」と、「集団活動が十分できず」について。人間関係が固定化されと、集団活動が成立しないというところがあり、子どもだけでは取り組めないという繋がりがおかしいように思います。人間関係が固定化されますというのは断定してしまうので良くないのではないかと思います。並立が気になります。

会長

ここで文節があれば丁度いいのですね。「固定化されたり」としたらどうでしょうか。

委員

その方がいいですね。分かりますね。

会長

皆さん、いかがでしょうか。

委員

「固定化される人間関係や」等、前後変えると切れるような感じがするんですが。「人数の中では固定化される人間関係や…」はやはりおかしいですかね。その部分が切れる感じはしたんですが。

事務局

今ホワイトボードを使わせていただいて、まとめさせていただいた方がいいかなと思います。

会長

「一方で人間関係が固定化される限られた人数の中では」は余計におかしいですね。

委員

「一方で人間関係が固定されることにより集団活動が十分できず」

会長

「一方で人間関係が固定化されることにより集団活動が十分にできず」ということはファクターにするわけですね。

副会長

人間関係が固定化されることと、集団活動が十分にできないことは並列ではないかなと思うので、会長が仰ったように、「人間関係が固定化されたり」にして、次の「集団活動が十分にできず時には成立せず」今のままでしたら「大人の力をも必要とする活動となることが～」が一つの文脈なのかなと思うので、「活動となったりすることが懸念されます」となると、人間関係の固定化と、集団活動が十分に出来ないということを合わせて伝えているのかなと思うので、「たり」で分かりやすくなるのではないかと思います。

会長

「固定化されたり」と、もう一つはどこに「たり」を入れますか。

副会長

今の現行文でしたら、「活動となったりすることが懸念される」「大人の力を必要とする」は「子どもだけでは取り組めない活動となったりすることが懸念される」になるのかなと思います。「集団活動が十分できず」は活動まで繋がってるかと私は思ったので、「たり」で分かりやすくなるかなと感じました。

事務局

今の所を一度読ませていただきましょうか。

〇〇委員が仰られたのは、「一方で限られた人数の中では人間関係が固定化されたり、集団活動が十分できず、時には成立せず、子どもの力だけでは取り組めない活動となったりすることが懸念されます」という言い方に変えられてはどうかというお話でしたね。

会長

先ほど〇〇委員が仰られたように、最初に「たり」を入れるのは賛成だと思いますが、もう一つ「たり」を入れるという部分の「取り組めなかつたりすることが懸念される」には、「たり」が要りますか。



## 委員

大人の力というのは、適当な言葉ではないので変えていただきましたが、どちらにしても二つのことで、一つは子どもたちの人間関係が限られている中で、いろんな課題も出て問題も出たとき、そして集団活動すると二つのことだけで仰っておられましたが、そのことのどちらも受けていると思うので、「たり」を入れるとしたら「時には成立しなかったり」と前の部分かと思います。

## 委員

元の文章からいうと、一つは限られた人数の中だったら人間関係が固定化されますよと、また、集団活動が十分できずに大人の力が必要となるようになることがありますよという二つなんですね。人間関係が固定化されたり、集団活動が十分できずに集団活動が成立しないというところが、もう少し簡潔に言えると、人間関係が固定化されたり、集団活動が十分でなく子どもだけの活動ができなかったりと、この二つで、「大人の～」は集団活動ができないから大人の力が必要なのであるということですね。

## 委員

「大人の力を必要とする」を考えていったら、やはり地域と取り組んだりすることがあるのに、「大人の力をも～懸念されます」というのは、大人と一緒にすることも大事なのに、大人が入ってまですることを懸念しているような雰囲気にも取られます。

## 会長

地域の人に入ってもらって学校のことをやれるのはとても大賛成です。例えばドッジボールに人数が足らずに子どもの代わりにしてあげるという意味だと思いますので、「時には成立せず」という言葉は大事だと思います。そして先ほどの「たり」が要るのかというところで、要るんですよ。はっきりと小規模校は集団として成立しないと言いたいところではあるのですが、入れないと駄目でしょうか。

子どもたちの力だけでは取り組めないことが懸念されるというところは、もう少し考えたいと思います。

「固定化されたり」では、並立を避けるをしたいと思います。

では、後半部分を事務局お願いします。

## 事務局

では後半部分読ませていただきます。

きわめて小規模の学校においてはこの状況を改善するために、ICT活用や学年の枠を

超えた集団学習をされています。さらに近隣の学校の子どもたちが一堂に会して教科学習や行事を合同で行うなど、多人数の生活や学習の場面を行う工夫をされています。

子どもたちが集団の中で喜怒哀楽を共有したり、互いに影響や刺激を与え合ったりすることは、学校教育において子どもたちに向上心や協同性を育て、人として成長する上で大切であると考えます。さらにこのことは、次世代を担う子どもたちにとって多様性や社会性を育むうえで大切であります。

このような観点から『より良い教育環境とは、子どもたちが「ともに生き」「ともに学び」「ともに育つ」ことができる環境であり、一定数の人数の集団が確保される必要がある。そのためにきわめて小規模の学校が保護者や地域の理解・支援のもと段階的に解消されることが望ましい。』という提言をいたします。

以上です。

会長

「一定数の」の数は不要ですね。「一定の人数」でいいですね。

事務局

はい。

会長

ではよろしく申し上げます。

委員

「段階的に解消されることが望ましい」とありますが、ここでしなくてはならないとするなら、「段階的に」という言葉は必要なく、先行きにと思う必要もないと思います。経済的なこととか他のことが含まれているのかなと考えが入るような感じがします。

会長

ここで言われているのは多分保護者理解、地域理解でしょうから、一切無視して解消しろということではないという意味合いで、段階を経ていかないとという意味だと思います。

委員

地域の理解・支援のもとなので、それ以前に段階が入っているので要らないと思います。

会長

なるほど。では「段階的に」をなくしたらどうでしょうかということですが、いかがですか。

委員

「解消」という言葉について、最後 2 行の「きわめて小規模の学校が～段階的に解消される」という文ですが、学校が解消されるとは学校が消滅するという意味合いに一般の方は取りがちだと思います。解消というのは小規模な状況が解消されなければならないので、できたら学校が解消されるという言い方よりは、学校の小規模な状況が段階的に解消されるとしたほうがいいのではないかと思います。

会長

なるほど。その名詞はどうなりますか。

委員

「小規模な状況が解消される」と思っていますが。

会長

状況が、状態が。

委員

状況、または現状。

会長

状況が解消されることが望ましい。  
段階的にはどうですか、〇〇委員。

委員

状況は一気に改善しないと思います。

会長

小規模な学校というところを、学校の小規模な状況が。

委員

これをなくすということはどういうことなんですか。そこの学校にだけ子供が行くようにすると、他の学校が減ってしまうとなると、統合であるという考え方となって行くのが普通なのかと感じます。そうすると、提言書であるのならば「段階的に」という言葉は、教育委員会事務局が「段階的に解消して行きたいと思います」という回答が返って来るのが普通であり、こちら側からそのような言葉を語る必要がないと思います。

会長

なるほど。

副会長

先ほどの「きわめて小規模の学校」という部分について、「きわめて小規模の学校の現状が」という意見が出ています。上から3行目の脚注\*2にもありまして、名詞なのかと思っていましたが、どのような意味で使われているかによって、変わってくるのかなと感じています。

会長

ここで問題にされているのは、学校を解消とすると、学校を消してしまうという意味ではなしに、状況が6行目までの状況を打破したいと言っておられるので、学校自体をなくすと取られるといけないと皆さん思っておられます。その中で「段階的に」は教育委員会の方で考えたら良いことではないかということです。今年は提言したら終わりではなく、来年もまた提言が必要となって来ると思いますが、その時には段階が必要になって来ると思います。地域の理解、保護者の理解、学校と公民館をどうするか等、色々出てくると思います。そういった意味合いの段階という言葉ではないかと思いますが、〇〇委員いかがでしょうか。

委員

何事も段階だと思います。

会長

ここで使う必要はないのではないかという意見ですが。

委員

意味は分かります。周りの理解を得ていないのに言うのはどうかと思います。余計に反発があるのではないのでしょうか。

会長

〇〇委員が仰ったような思いを、スムーズに理解していただけたら段階という言葉は不要ですね。段階という言葉を残しておく、来年皆さんにどういう段階がいいかご意見いただくというように繋がると思います。

委員

「きわめて小規模の学校」というのは\*2で書かれたように「国の定める「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」で複式学級\*4の対象となる学校のこと。」これが一つの名詞となるのですね。ということは、段階的にきわめて小規模校が小規模校でなくなるようなことができればいいなということ、ここに文章として入れられればいいなということですよ。難しいですね。

きわめて小規模校がなくなることが望ましいですが、それを文章にするにはどうすればいいのでしょうか。解消されるというような言葉の前には、そういう言葉が入ることがおそらく必要だということなのでしょう。

会長

学校自体の建物を壊してしまえという意味ではないということです。きわめて小規模な状況がという表現が初めて出てきます。状況が解消されるというのはとてもベストに近いですね。

段階的にはよろしいでしょうか。

委員

段階的に行わないと急には無理だと思います。どのような施策をするのかは分りませんが入れておいたほうがいいのではないかと思います。

委員

これからやっていくときの考え方であって、提言する上で入っているなら、経済的な問題等が入ってくるのかなというような見方が出来るのではないかと思います。段階の中に違う読み方が含まれているように思います。学校への理解、地域への理解は前段階で入っているので、そこは段階を踏んでる言い方だと思いますので私は必要ないと思います。

## 会長

文末の、「～望ましい。」という提言をいたします。とありますが、「という」の部分について、「～望ましい。」ということ提言をいたします。にして、段階的にも消して、はっきりと明言したほうがいいのではないのでしょうか。

## 委員

「段階的に」を消すのは私も賛成です。「きわめて小規模校な学校」は一つのフレーズですよね。きわめて小規模な学校が地域の理解や支援のもとに解消されることが望ましい。取り方としては、きわめて小規模な学校がつぶれるという取り方と、これまでの複式学級が6学級の状況になって、きわめて小規模な学校という状況が変わるという捉え方が出来ると思います。これを皆さんが読まれると、きわめて小規模な学校が解消すなわちもうつぶされるんだという捉え方しか出来ないように感じます。いろんな人たちが集まって、きわめて小規模な学校という状況が解消されているということが、全国的にあると思いますので、ここの話し合いではイメージ出来るのですが、一般の方が読まれた時にも両方のイメージできるようなことが必要なのではないかと思います。

## 会長

具体的に多羅尾小学校で市のバスで50～60円で通学していて、きわめて小規模な学校の状況ではなくなったとして、これは解消というのでしょうか。そのようなことを続けては行けないから、やはりそういった状況に置かれない学校にしておかなくては行けないから、解消しておかないといけなのではないのでしょうか。「状況」という言葉を入れたら、状況でなくなれば解消されたのかという誤解もあります。

## 委員

私は状況という言葉がある方がいいと思います。小規模校でも今いろんな取り組みをしながら合同で行っているということがありますから、もっと広がっていくことも中に入ってくるので、学校だけではなく学校の勉強のあり方等について、変わることを含めて状況の方がいいと思います。

## 会長

地域のシンボルマークの学校をなくすと公民館となり、集合場所や避難場所がなくなるではないかという話になります。私どもが一番思っている学校のあり方としては、そういった状況が解消されるということです。そちらの方がいいかなと思います。

では、「そのためにきわめて学校の小規模な状況が保護者や地域の理解・支援のもと解消されることが望ましい。」段階的には無しでよろしいですか。

## 副会長

蒸し返してすみません。

「きわめて学校の小規模」というと、きわめてはどこに係ってくるのかを考えたときに、きわめては小規模に係っていると思います。だから、「きわめて学校の」と学校の前にきわめてを使うのではなくて、「学校のきわめて小規模な」となるのかなと思いました。

## 会長

〇〇委員の仰ることは分からなくはないですが、「学校のきわめて小規模な状況」は、大規模学校の中にもあります。クラブ等で人数が集まらない等。しかしここでは11学級までの学級編成で学校内での状況がということですから、学校をきわめての前にすると「きわめて小規模な学校」にターゲットが行かなくなるのではないのでしょうか。学校において、きわめて小規模な状況というのは、学校の大小に係わらずどこにでもあります。しかしここでは、6～11学級という小さな学校における小規模な状況を言っています。本当は「きわめて小規模な学校」と言いたいのですが、そうやってしまうと学校が消されるのかと捉えられてはいけないので、その中の状況にズームインした話ですから「きわめて学校の小規模な状況」の方がいいのではないかと思います。

一度文章にして皆さんに読んでいただいてはどうでしょうか。

他にありますか。

## 委員

「きわめて小規模な学校」というのが、上段からずっと一つの単語となっています。逆に言うとそこだけ( )してもいいような文章であるのに、変わってしまうと何か書き間違えているような、誤植のような雰囲気があるように感じます。

## 会長

私が言った「望ましいということを提言いたします。」の部分はいかがでしょうか。

## 委員

そこはそれでいいと思います。

## 会長

他にございますか。

委員

先ほどから出ております、「きわめて小規模な学校」という言葉はやはり、ずっと最後まであり、途中だけ変えない方がいいと思います。

会長

〇〇委員、「状況」は入れた方がいいですか。

委員

「状況」については、「状況の解消」という言葉があるのかどうかだと思います。結局言いたいことは、きわめて小規模な学校における課題の解決に向けての取り組みを差し込みます。「状況」としないと再編成に結びついて行かないのか、ここでもし課題の解決に向けての取り組みにすれば結局は他の方へ向いて行ってしまうのか悩みます。「状況の解消」という言葉は正しいのか適切なのかは分かりません。「きわめて小規模な学校」という部分は変えない方がいいと思います。

会長

「回復」という言葉はありますね。「この状況が回復するために」と言いますが、ここで「回復」という言葉は使わないですね。やはり「解消」かなと思います。他ありますか。

委員

中段から4行目の「次世代を担う子どもたちにとって多様性や社会性を育むうえで大切であります。」について、社会性は本来育みますが、多様性を育むには違和感があります。もう一つ、最下段から2行目の「必要がある。」とここだけ常体になっていますので「必要があります。」と敬体になると思います。

会長

多様性については、「多様な世の中」等よく使います。多様を前に持ってきて、「多様な次世代を担う子どもたちにとって社会性を育むうえで大切であります」とするとどうでしょうか。

委員

私も同様の意見ですが、多様性は社会の状況であって個人の性質ではないです。せつか



く前部分で向上心や協同性という言葉を出しているのに、社会性となると一般的で漠然と拡がってしまいますので、甲賀市さんが狙っておられるオリジナルな言葉等が入ると甲賀市の子どもたちの育成の姿が出せるのではと感じました。

会長

甲賀市の将来を見据えた中で、変化する社会情勢に柔軟に対応できる子どもたち。

委員

「活気あふれる」という言葉も市民憲章の中に入っています。会長が仰られた「多様性」も「多様な社会」という意味では「多様」は必要なキーワードだと思います。

会長

次の「社会性」はどうでしょうか。「人間性」というのもおかしいですね。

成長するうえで大事だと言いながら、また人生や大人になって行くうえで大事だと結構欲張った言い方をしていますね。「成長するうえで大切です。多様な社会を生きて行くうえでも大切であります」とするかですね。『はじめに』は柔軟に対応できる子どもたちと言っていますが、多様と係わってきます。「さらにこのことは、多様な次世代を担う子どもたちにとって大切であります。」と社会性を省くのはどうでしょうか。

委員

提案ですが、再編計画の中で「目指すものは子どもたちの確かな育ちにありませう」という言葉がありますので、今仰っていただいたように向上心や協同性が集団の中で培われてきている、このことは多様な次世代を担う子どもたちの確かな育ちを保証する、等としてもいいかなと思います。つまり向上心や協同性が大事な資質であるとなってくると思います。

会長

「さらにこのことは、多様な次世代を担う子どもたちにとって確かな育ちを育むうえで大切である。」育ちと育むが重なりましたね。

委員

前の部分は、勉強をして自分たちで向上心や協同性を養いますと中に抱えているような話であり、後の部分は外へ羽ばたいていく言葉なので、育ちとすると同じことを言っているような感じになります。

会長

そうですね。〇〇委員が仰っていただいたように、学校の中で養ったものを外に発信してという点では、社会性という言葉ではなく、はっきりと多様な次世代を担う子どもたちにとって大切でありますとするかですね。人間性という言葉も違いますかね。

委員

これからの多様な社会に飛び込んで行けるといような言葉はないでしょうか。

委員

先ほど仰った再編計画の基本的な考え方の上の方の目指す方向で、9年間の義務教育を通しての後に「社会に挑む夢と力を蓄えた中3生」とあります。最終的には教育の環境を整えることにあります、という狙いがあるので「社会に挑む夢と力」という言葉が広い意味で使えるのではないかと思います。

会長

もう1回仰ってください。

委員

「さらにこのことは、多様な社会に挑む夢と力を蓄えた子どもたちを育てることができ  
る教育環境を整えることが必要であります」など、上を受けて最終的に教育環境を作ること  
が必要であるというようにするのはどうでしょうか。目指す方向に書かれています。

会長

例えば夢と力を育みます、はどうでしょう。「多様な次世代を担う子どもたちにとって  
夢と力を育むうえで大切であります。」ここはいろんな意味で取れる表現がいいと思いま  
すので、少し考えましょう。多様性は前に持っていき、「多様な世代を担う子どもたち」  
の後の社会性をどうするか考えましょう。

では後半部分色々ご審議いただきましたが、事務局から何かございますでしょうか。

事務局

はい、色々なご意見をいただきましてありがとうございます。

本日いただきましたご意見を加味させていただき、加味させていただいたものを、会長、

副会長と相談させていただきます。次回審議会までに委員の皆様に事前に送付させていただきたいと思っております。修正内容につきましては、会長、副会長に一任いただければと考えております。皆様のご意見はございますでしょうか。

以上です。

会長

それでは沢山ご意見をいただき、皆様の御協議と共通理解の元で進められたとっております。それでは本日の議題は、終了となりますが、何かございますでしょうか。なければ次回日程を確認したいと思います。事務局お願いいたします。

事務局

今回は2月4日(金) 14時30分～ 令和3年度提言書の提出 となります。また、提言書の提出後は教育長を交えて、1年間を振り返っての懇談会をさせていただきたいと思っておりますので、皆様ご参集をよろしくお願いいたします。以上です。

会長

事務局からの提案に追加、ご質問ご意見はございますか。

委員

本日のことを事務局と会長、副会長で修正いただき、それを2月4日までに送付いただくということで、2月4日はどういった内容になりますか。会議ですか、懇談会ですか。

事務局

はい。2月4日につきましては、できあがりました提言書を教育長に提出する作業となります。今日皆様でご協議いただいた内容について提言書にまとめさせていただきます。一度皆様に戻しましてご意見がないようであれば提言書が出来上がります。最終内容になっておりますので、次回2月4日は提言書を教育長に提出することになります。終わりましたら、皆様に1年間を通して何度もご参集いただき、また学校見学もしていただきましたので、それらを振り返っての教育長を交えた懇談会を予定しております。

会長

提言書をご覧いただきご意見をお願いいたします。なかなか日本語は難しく、意に沿わないように取られると私たち審議会としては不本意なことです。どうぞ皆様ご協力いただけますようよろしくお願いいたします。事務局お願いします。

事務局

ありがとうございました。

委員の皆様、お寒い中お越しいただきまして、また長時間に渡り御協議いただきましてありがとうございました。それでは副会長より閉会のごあいさつをお願いいたします。

副会長

失礼いたします。本日も提言書の作成に向けて、委員の皆様のご意見を聞かせていただくことができました。言葉は本当に人によって捉え方の感覚が違い、提言書の文字数は800字ほどですが、その中にこれまでの審議会での審議の経過が込められていて、市民の皆様に受け留めていただけるような提言を提出できることが何より大事なことだと思います。この会議では未来を担う子どもたちを中心に据えて話し合いができたこと、子どもにとってのより良い教育環境について話し合うことができたととても有意義であったと思います。次回2月4日に向けて、事務局にもお世話になりますし、また委員の皆様にも最終的な提言内容につきましてご覧いただきたいと思います。

本日はどうもありがとうございました。

事務局

これを持ちまして 第4回 甲賀市小中学校教育のあり方審議会を終了させていただきます。皆様どうもありがとうございました。